

地域安全ニュース

発行所： 鹿屋・垂水地区防犯協会 TEL 44-0110 (内線273)



令和3年「春の全国交通安全運動」及び「春の子供の安全見まもり大作戦」の実施



春の全国交通安全運動及び鹿屋市地域安全運動「遵守」を掲げ出発式

鹿屋市では、「安全で快適に暮らせるまちづくり」を実現するために、「春の全国交通安全運動・鹿屋市地域安全運動」の出発式が、4月6日(火)、スシロー鹿屋寿店駐車場において、鹿屋市、鹿屋警察署、鹿屋市防犯協会、鹿屋市交通安全協会、防犯パトロール隊等の関係者約40人が参加し、鹿屋市立鹿屋女子高等学校書道部員が作成した願いの言葉「遵守」を掲げ行われました。

式典では、鹿屋市長及び鹿屋警察署長の挨拶の後、川西町内会地域安全パトロール隊の白木川隊長が「交通事故の撲滅と犯罪の発生を防ぐ活動に取り組む」と宣言し、鹿屋警察署交通課長の出発の号令で、白バイを先導にパトカーや青パトが、関係者に見送られパレードに出発し、広く市民に交通事故防止や犯罪の起きにくい街づくりを呼びかけました。



垂水市「交通事故ゼロという願い」を込め春の全国交通安全運動出発式

垂水市では、「安心していきいきと暮らせるまちづくり」のため、春の全国交通安全運動の出発式が、4月6日(火)、垂水市文化会館前駐車場広場において、垂水市、鹿屋警察署、安全運転管理者部会、防犯パトロール隊等の関係者36名が参加して行われました。

式典では、垂水市長の挨拶の後、安全運転管理者部会による安全宣言が行われ、パトカーを先導に青パト隊が一斉に合同パトロールに出発し、市民に交通事故防止を呼びかけました。



春の子供の安全見まもり大作戦 令和3年4月6日(火)～4月19日(月)までの間

管内では、登下校中の児童、生徒に対する声掛けやつきまとい等の前兆事案が増えていることから、地区防犯協会と地域安全モニターが、関係機関や団体等と連携し、登下校時の見守り活動を実施しました。



(終原地区)



(笠之原地区)



(寿北地区)



(野里地区)



(高隈地区)

子どもの安全を守るための実践的な「不審者対応訓練」を実施

鹿屋警察署は、4月12日、鹿屋市立南小学校において、子ども110番の家の協力を得て、不審者対応訓練などを行いました。

訓練は、子どもたちが下校中に不審者から声を掛けられ、「いかのおすし」で身を守ることを学んだり、子ども110番の家への駆け込み訓練などが行われました。参加した児童等は、本番さながらの訓練に、皆真剣に取り組んでいました。



「無事かえる」交通事故防止キャンペーンを実施

～ 垂水市 ～

垂水市は、春の交通安全運動期間中の4月12日(月)、荒崎パーキングにおいて、垂水市交通安全協会、江ノ島幼稚園園児や関係機関、団体が参加し、国道20号線を通行するドライバー等に、園児が作成した交通安全のお守り（無事かえる）や事故防止チラシを配布し、園児が「無事に帰ってきてください。」と交通事故防止を呼びかけました。



犯罪被害・交通事故防止キャンペーンを実施

～ 鹿屋市 ～

地域の身近な犯罪や交通事故を防止するため、4月13日(火)、プラッセだいわ鹿屋店において、鹿屋市安全安心課、鹿屋警察署交通課、地区防犯協会、地域安全モニターと合同で、うそ電話詐欺被害防止・交通事故防止キャンペーンを行い、参加者は、買い物客に「うそ電話詐欺」と「交通事故防止」などのチラシを配布し、被害防止と事故防止を呼び掛けました。



街頭キャンペーン・夜間パトロールを実施

～ 吾平地区 ～

4月15日(休)、鹿屋市吾平町の吾平町地域安全パトロール隊は、吾平駐在所、地区防犯協会、地域安全モニターと合同で、ATMの警戒活動と町内の夜間パトロールを行いました。

午前中は、高齢者のうそ電話詐欺被害を防止するため、地区内の金融機関を巡回し、ATMコーナーの警戒活動を行うとともに、利用者に対し、被害防止のチラシを配布しました。

夜間は、通勤通学中の女性や子供たちを犯罪から守るため、町内のパトロールを実施し、人通りの少ない暗い夜道や公園、コンビニエンスストアなどの警戒を行いました。



鹿屋市で交通死亡事故の発生

【発生時間】令和3年3月29日(月)午後11時30分頃
 【発生場所】鹿屋市寿八丁目の信号機のある交差点
 【事故態様】原付と普通乗用車の出合頭の衝突事故
 市道上を走行中の男子高校生(16歳)が運転する二人乗りの原付と、県道を走行中の男性(19歳)が運転する普通乗用自動車と、出合頭に衝突する交通事故が発生し、原付に同乗していた女子中学生(15歳)の方がお亡くなりになりました。

鹿屋警察署管内では、今年に入って 1件目の交通死亡事故 です。

車や二輪車を運転する際は、

- 夜間は視界が悪くなり、歩行者などの発見が遅れるとともに速度感覚が鈍り、速度超過になりがちです。昼間より速度を落とし、夜間は原則ライトを上向きで走行しましょう。
- 信号機のある交差点では、右折車、歩行者などに気を配りながら、信号機を確実に確認しましょう。
- 原動機付自転車の二人乗りは禁止されています。
- 二輪車を運転する際は、必ずヘルメットを着用しましょう。